

(様式 1)

平成 23 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 135	提案機関名 神奈川県養鶏協会、神奈川県畜産会
要望問題名 強制発酵装置を用いた粒状製品作成の運転方法の研究	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 家畜排せつ物の処理施設は概ね整備されましたが、強制発酵装置で処理された製品の形状が粉状のため利用上種々の問題がみられ、流通の隘路となっています。そこで、発酵機の運転方法や賦課物質の添加並びにペレット化等処理製品が利用しやすい形態の発酵製品を作成する低コストでの運転方法を確立して頂きたい。現地試験での対応も考えられます。	
解決希望年限	① 1 年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3 年以内 ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内
対応を希望する研究機関名	① 農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ② 畜産技術所 ③ 水産技術センター ④ 自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画経営担当
対応区分	① 実施 ② 実施中 ③ 継続検討 ④ 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>堆肥の粒状化は、製品堆肥が取り扱いやすくなる、施肥しやすくなるなどの長所があります。一般的には、製造された堆肥の水分や粘性を調整したのち、造粒機により粒状やペレットにしています。一方、短所として、造粒機は高価で製造には手間とコストがかかるという点があげられます。</p> <p>密閉型強制発酵装置の製品堆肥の形状については、送風が過剰な状態では、過乾燥により製造される堆肥は発酵が不十分で粉状になると考えられます。ご要望の密閉型堆肥化装置で堆肥を粒状化する研究ですが、密閉型強制発酵装置の製品堆肥の形状に影響を与える要因や物質添加による堆肥の粒状化に関する研究情報は乏しい状況ですので、当面は現地情報や関連分野の研究情報の収集に努め、情報提供していきたいと考えています。</p>		
解決予定年限	① 1 年以内 ② 2～3 年以内 ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内		
備 考			